

# 大草原の国・モンゴル

講師：レンツェンホルロー・オユンゲレル



3月19日(木) 香寺公民館において、国際理解出前講座「大草原の国・モンゴル」を開催しました。講師は、モンゴル出身で現在姫路市内にお住いのレンツェンホルロー・オユンゲレルさんです。

講座には、200名近い方が参加され、皆さんとても熱心に聴講されました。モンゴルの地理や首都・ウランバートルの紹介に続いて、モンゴルの四季と人々の生活の様子についてくわしいお話がありました。

モンゴルの生活の中での大きなイベントは、夏の「ナーダム」という伝統的なお祭り、冬の「正月」です。「ナーダム」で競われる「ブフ」という相撲の話や競馬の話を知っていると、モンゴルの広々とした草原の様子が目に浮かぶようです。CDで、モンゴルの伝統楽器・馬頭琴や独特の発声法で歌われるホーメイを聴き、参加者の皆さんもモンゴルの雰囲気を感じられているようでした。

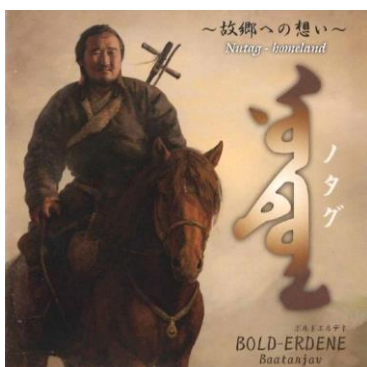
お正月にはボーズという食べ物を作るそうです。「家でいくつぐらい作りますか？」という講師の問いに、「30」とか「100」と答えがあがっていましたが、「1000個ぐらい作ります」という答えに大きな驚きの声があがっていました。

ふだん、あまり知ることのできないモンゴルでの人々の暮らしに触れることができる貴重な機会になったようでした。



講師のオユンゲレルさん。  
愛称は、オーヨーだそうです。

<馬頭琴のCD>



<ボーズ>



<モンゴル相撲>

